学校番号	１１０

令和８度　芸術科

教科	芸術	科目	書道基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道の基礎的なことがらを学びます。
・古典や古筆の名品を鑑賞し、篆書・隷書・楷書・行書・草書から平安朝の仮名に至るまで様々な書体を臨書し、多様な美を味わうことを目標とします。
・古典の臨書で培った技法や知識を生かして創作を経験し、自分の書表現の幅を広げることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
・書の表現の方式や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて個性豊かに構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け表現している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	篆書の学習	「石鼓文」　「甲骨文」 ・篆書の学習を踏まえて、個性的で多様な篆書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・篆書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	a:篆書の字形や用筆の特徴、特に蔵鋒や分間布白などについて理解している。 b: それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 時代による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート
	隷書の学習	「曹全碑」 ・隷書の学習を踏まえて、個性的で多様な隷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・隷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	a:隷書の字形や用筆の特徴、特に波磔や水平で扁平な字形などについて理解している。 b: 古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 古典による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート
	楷書の学習	「雁塔聖教序」 ・楷書の学習を踏まえて、個性的で多様な楷書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	a: 楷書の字形や用筆の特徴、特に点画の丸み、連続・省略などについて理解している。 b: それぞれの古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート

	行書の学習	「枯樹賦」 ・行書の学習を踏まえて、個性的で多様な行書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	a: 行書の字形や用筆の特徴、特に点画の丸み、連続・省略などについて理解している。 b: 古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート
後期	草書の学習	「十七帖」 ・草書の学習を踏まえて、個性的で多様な草書の表現を鑑賞し、その美について理解を深める。 ・草書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。	a: 草書の字形や用筆の特徴、特に連続・省略などについて理解している。 b: 古典の書風、字形や線質、点画などの特徴を把握して、臨書する際に主体的に表現を工夫している。 c: 書き手による書風の違いに関心をもち、それぞれの書風を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート
	漢字の学習	作品制作 ・漢字の学習を踏まえて、各自好きな書体で作品を制作する。	a: 書体に応じた字形や用筆の特徴、特に連続・省略などについて理解している。 b: 古典の書風を応用し、字形や線質、点画などの特徴を把握して、制作する際に主体的に表現を工夫している。 c: 作品の制作意図を主体的に言い表そうとしている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート
	仮名の学習	・仮名の成立や仮名文字の推移について理解する。 ・俳句を平安朝の仮名を用いて捜索する。	a: 漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解している。 仮名独特の線質や流れを理解し、それを表現するための用筆や運筆を理解し技能を身に付けている。 b: 俳句の創作において主体的な構想に基づく創造的な表現を追求している。 c: 仮名の書の流麗さを出そうと試行錯誤を繰り返している。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート

	漢字仮名交じりの書	言葉と書の調和 ・学習してきた漢字と仮名を調和させて作品を書く。	a: 作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 b: 各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。自分の作品について、創作意図や感想を文章でまとめている。 c:題材の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	作品	作品・ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度